



H25. 5. 2. №1311
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

りました。海面漁業の漁獲量は、373万1千トンで、さば類、かつお等が増加したものの、するめいか、まいわし、まあじ等が減少したことから、前年に比べて9万3千トン(2.4%)減少しました。さば類は、茨城県・愛媛県・静岡県等で増加したことから、前年に比べて4万7,700t(12.2%)増加、かつおは、28万300トンで、静岡県・東京都等で増加したことから、前年に比べて1万8,200トン(6.9%)増加しています。また、海面養殖業の収穫量は、104万3千トンで、主にほたてが、わかめ類で震災により被害を受けた養殖施設が復旧したこと等から前年に比べて17万4千トン(20.1%)増加しました。さらに、内水面漁業・養殖業の生産量は、6万7千トンで、うなぎの養殖が種苗の不足により減少したこと等から前年に比べて6千トン(8.6%)減少しました。

1. 第78回大漁祈願祭が挙行される 大漁祈願と航海の安全を祈願

本会では、4月13日三島大社において水産関係団体の協賛のもと、第78回大漁祈願祭を挙行しました。この祈願祭は、我が国最初の漁業法が誕生した明治34年4月13日を記念して、昭和9年に第1回が行われて以来、毎年(戦時中の2年を除く)恒例として執り行われています。本年も県をはじめ県内関係漁業者42名が参列し、本殿神前には各漁協等から奉納されたタイ・桜エビ・伊勢エビ・金目鯛・干物など海の幸が供えられ、禰宜や巫女による舞いが奉納された後、本会・県・地区運営委員会及び水産関係団体の代表者が玉串を奉奠し、本年度の大漁と航海の安全を祈願しました。

2. 第44期入学式 若人14名が漁業後継者を目指す 一県立漁業高等学園一

静岡県立漁業高等学園(町田益己園長)では、4月9日平成25年度(44期)入学式を執り行いました。式典は、14名の入学決定がなされた後、園長の式辞に続き、来賓として本会の荒川後援会会長、中野焼津市長(久保山秘書課長代読)、藤田県経済産業部水産局長の3名より、入学をお祝いする言葉が贈られ、その後、新入生を代表して佐野輝希くんが誓いの言葉を述べました。なお、第44期生のうち県内生は12名(西伊豆町1・伊豆の国市1・沼津市1・富士市1・静岡市2・藤枝市1・御前崎市2・磐田市1・浜松市2)、県外生は山形・鹿児島からの2名となっています。また、水産庁が今年度より新たに始める新規漁業就業者の確保のための青年就業準備給付金事業により、漁業学校などで漁業就業に向けて研修を受ける者に給付金が支給されるため、本年度、学園に入学した生徒も要件を満たせば、この給付が受けられることとなっています。

3. フィッシングフェスタ in 沼津開催される 一沼津地区遊漁船協議会一

4月14日沼津地区遊漁船協議会の主催、静岡県遊漁船業協会の協賛により「第10回フィッシングフェスタ in 沼津」が沼津沖において開催され、風を心配しながらも参加隻数25隻、参加釣客約200名に及ぶ盛大な大会となりました。現在、遊漁船業の存続には幼稚魚の放流は欠かせない事業となっていることから、沼津市在住の遊漁船業者のほぼ全経営体を会員とした県下最大組織である沼津地区遊漁船協会は、この大会の発足以来、マダイ放流事業の推進と啓蒙を趣旨とした放流事業推進大会として実施しています。また、収益金は、関係機関との協議の上、マダイ放流資金の一部に寄付する予定となっています。

4. 平成24年度漁業・養殖業生産量を発表

農林水産省は、平成24年の漁業・養殖業生産統計(速報値)を発表しました。それによると、漁業・養殖業の生産量は、484万1千トンで、前年に比べて7万6千トン(1.6%)増加したものの、東日本大震災発生前の平成22年比では、47万1千トン(8.9%)の減少とな

5. 本会販売部業者会を開催 JF静岡漁連ブランド確立に向けて

本会販売部では、4月23日静岡市内において販売事業食品部門に関連する納入業者を中心に27社34名の参加を得て、平成25年度JF静岡漁連業者会を開催しました。はじめに販売部渡辺部長より「本会販売部の主要販売先ユーコープへの販売強化はもとより、加工度を高めた惣菜商品の開発拡販、県内低利用・未利用水産物の集荷販売ルート醸成等を推進して、複眼的な事業展開を通じ販売事業の効率化と業績向上を図りたい。さらに、JF静岡漁連ブランド商品の開発を加速させ、安心安全の概念にブランド確立に向け様々な機会を通じPR活動を行い、より一層の拡販に努めたい。」と販売事業方針を説明しました。

その後、本部販売課長、静岡・沼津事業所の各所長及び業務担当者からそれぞれの業務方針説明を行い、年間を通じた取引に協力を依頼しました。

6. TPPを知るための県民学習会 開催予定

最近の世論調査では、TPP交渉参加表明を評価する回答が6割以上となっている一方、「国民への情報提供不足」「輸入農産物の増大への不安」「食品の安全基準に対する不安」を回答する割合も高いことから、我が国の将来を担う次世代に負の遺産を残さないためにも、多くの国民とともに様々な角度からTPPの本質を議論し、真の国益とは何かを迫っていく必要があります。このため、広く県民一般にTPPの情報を伝え、県民的議論へと盛り上げていくための県民学習会が開催されますので多くの方々の参加をお願いします。

▽開催日時 平成25年5月26日(日)13:30~15:30

▽会場 ホテルアソシア静岡(静岡市葵区黒金町) ▽参加費 無料

▽学習内容 講演「TPP交渉参加は何を意味するか」(1時間30分)・意見交換

詳しくは、本会漁業振興課又はJA静岡中央会・学習会事務局までお問い合わせください。

7. 我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会 多数の参加を

我が国漁業・養殖業の存続を可能とする緊急対策の実現を求める全国集会が開催されますので、多くの漁業関係者の参加をお願いいたします。▽開催日時:平成25年5月29日(水)午後1時▽開催場所:東京・日比谷野外音楽堂 ▽主催・参集者:全漁連及び(社)大日本水産会他・全国の漁業代表者2,500名 ▽お問合せ先:漁業振興課 ☎054-254-6011

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう